

肺癌患者由来ヒトがん関連線維芽細胞（CAF）を用いた新規CAF薬剤標的分子・ 治療仮説の同定・検証に関する研究

1. 研究の対象

A:2006年1月から2022年7月までに当院で原発性肺癌の手術を受けられた方。

2. 研究目的・方法

がん関連線維芽細胞（CAF）は、その複数の腫瘍形成促進作用により、癌治療のための腫瘍微小環境における重要な標的細胞であると考えられています。本研究では、2006年1月から2022年7月までに当院で切除された原発性肺癌組織より樹立したCAF細胞株および肺癌症例のホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）組織検体を用いることで、共同研究先である武田薬品工業のCAF scRNA-seqデータの統合的解析により同定された(1)薬剤標的候補分子についてCAFの癌促進機能に対する役割を検証するとともに、(2)一部のCAF亜集団の分化過程に着目した新規治療仮説の検証と、その治療仮説に沿った新規薬剤標的分子の同定を目指します。

尚、本研究は武田薬品工業株式会社から研究資金を受領して行います。

情報収集の作業に当たる人員は医師をはじめとする医療知識のある研究者です。

研究実施期間は研究許可日から2025年3月31日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：対象患者さんに関する年齢、性別、喫煙歴、検査所見（採血など）、病理診断結果（病理病期、腫瘍径、胸膜浸潤、血管浸潤、リンパ管浸潤など）、予後等

試料：日常病理診断時に作成したホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）検体および「生体外における、ヒトがん組織微小環境の再構成（課題番号：2005-043）」において検体から樹立した線維芽細胞株およびそこから抽出したDNA, RNA

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関への試料提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

本研究に関する試料、情報等は、Takeda Development Center Americas, Inc.社

【米国】に提供します。

提供先名称：Takeda Development Center Americas, Inc.社

外国における個人情報の保護に関する制度は以下から参照することができます。

<https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/kaiseihogohou/#gaikoku>

提供元となる研究機関の長

国立がん研究センター 理事長 中釜 斉

5. 研究組織

（研究責任者）

国立がん研究センター東病院 病理・臨床検査科 科長 石井 源一郎

武田薬品工業株式会社 リサーチ 日本癌創薬ユニット ヘッド 菊川 裕介

（研究事務局）

国立がん研究センター東病院 病理・臨床検査科 医員 滝 哲郎

（研究者）

国立がん研究センター東病院 病理・臨床検査科 科長 石井 源一郎

国立がん研究センター東病院 病理・臨床検査科 医員 滝 哲郎

国立がん研究センター東病院 呼吸器外科 科長 坪井 正博

国立がん研究センター東病院 呼吸器内科 科長 後藤 功一

（共同研究機関）

武田薬品工業株式会社 リサーチ 日本癌創薬ユニット 主席研究員 白石 翼

同上 研究員 中村 敏弘

同上 主任研究員 奥蘭 夕海

同上 主任研究員 浅沼 里実

同上 主席研究員 宮川 秀一

同上 主任研究員 伊藤 達生

同上 主任研究員 阿比留 晶子

同上 主任研究員 岩田 雅史

同上 主席部員 宮崎 泰

同上 研究補助員 前島 愛

同上 研究補助員 中嶋 楓

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。相談は原則として電話で行うこととし、研究責任者が責任をもって対応致します。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 病理・臨床検査科 科長 石井 源一郎

FAX 04-7131-4724/TEL 04-7133-1111

研究責任者：

国立がん研究センター東病院 病理・臨床検査科 科長 石井源一郎